

災害は、いつ、どこで、起こるか分かりません。自宅に居るときかもしれないし、出かけている先かもしれません。家族が一緒であるのか、一人の時なのか、分かりません。ひとりひとりが、災害が起こった時にどう対処するのか、準備しておきましょう。家族で話し合い、それぞれが防災を自分事として考えておくことが大切です。



今月は
みんなで話し合おう



今すぐチェック

「和合町の〇部〇組〇班です」といえますか？

自主防災隊では、自治会の部、組、班、を単位として活動を行います。

よって、避難等が必要になった時、住所以外にも自分の部、組、班 の情報が必要です。

災害が起こった時、どこに避難するのか知っていますか？

災害が起こった時、まず、第一次避難場所に避難し、その後、第二次避難場所、更に緊急避難場所である泉小学校グラウンドに避難するのが和合町自主防災隊における基本的な避難方法です。ただし、避難は必ずしも全員がそろってということにはなりません。

和合町以外の所で災害に遭ったら何処に避難しますか？

浜松市では小中学校のグラウンドが緊急避難場所に指定されており、案内看板や、表示看板が設置されています。知らないところで災害に遭ったときは、スマートフォンや、携帯電話の GPS 機能を使って、近くの避難場所を調べることが出来ます。

家族がバラバラになった時の連絡方法を決めていますか？

家族の安否確認の方法をみんなで共有しておきましょう。

- ① 災害用伝言ダイヤル171
- ② 家族の集合場所を決めておく

家族に支援が必要な方がいる場合の避難を具体的に考えていますか？

要支援者のことをよくわかっている家族、ケアマネージャー等の支援者で、具体的な避難方法、支援体制を決めておきましょう。

地域の人と繋がりがありますか？

いざという時頼りになるのはご近所さんということになります。

普段からコミュニケーションを取り合いあえるご近所づきあいを心がけましょう。